



## The Magic of ROTARY ロータリーのマジック

2024～25年度年度  
国際ローター会長 Steohanie Urchick



Rotary  
東京麹町

## 東京麹町ロータリークラブ

**本日の例会プログラム**

第 33 回例会 2025.6.9 (#2448) 舞の間

例会ホスト・紹介係	山本会員
受付係	杉山会員 内田会員
司会者	山田会員 ソングリーダー 園田会員

卓話 「ファミリーマートのおむすび経済圏」

ファミリーマート社長 細見 研介氏  
紹介者 荒川会員

**前回の報告**

第 32 回例会 2025.6.2 (#2447) 舞の間

例会ホスト・紹介係	加賀会員
受付係	乳井会員 荘村会員
司会者	山田会員 ソングリーダー 高瀬 YE

卓話 「認知症の予防×経済対策の研修」

認知症アドバイザー代表理事 廣瀬 豪輝氏  
紹介者 須藤会員

## 今期のモットー：「親睦を通じて奉仕を実践する」

### 会長報告

- 1) 本日はどなたにも大変気になる認知症についてお話を頂きます。
- 2) 第1例会ですので、米山奨学生の陳 好さん、青少年交換学生の高瀬さんが出席です。高瀬さんにはソングリーダー 四つのテストの唱和と、英語のスピーチをお願いします。
- 3) 6月の誕生日、記念日の御祝いをおこないます。

### 幹事報告

- 1) 次年度上半期会費をお納め下さい。
- 2) 23日の最終例会の出欠をお知らせください。
- 3) 例会終了後に定例理事会が御座います。今月も来期の理事もご出席下さい。

2025-26 年度 テーマ：  
**「よいことのために手を取り合おう」**

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長  
エレクト(ブラジル・サンパウロ)は、よいことのために手  
を取りあうよう呼びかけています。ロータリー会員は、人と  
人とのつながりがもたらすパワーを活かして、新会員を増  
やし、奉仕プロジェクトで協力し、世界的なインパクトをもた  
らしながら、前向きな変化を生み出しています。

### 例会記録

会員総数 60名 出席会員数 27名  
ゲスト 1名 ビジター 1名  
その他 2名 海外ビジター 0名  
事務局 2名

### ニコニコボックス

荒川会員：廣瀬様卓話を宜しく申し上げます。  
パートナー誕生日  
結婚記念日：加賀会員(1日)・植芝会員(6日)  
浅野会員(21日)  
パートナー誕生日：濱田会員(3日)・吉田会員  
金子会員(7日) 久保田会員(19日)  
誕生日祝い：崎山会員(3日)植芝(充)(27日)

### 次回予告

第34回例会 2025, 6, 16 (#2449) 会場：舞の間

例会ホスト・紹介係	山内会員
受付係	加賀会員 保科会員
司会者	乳井会員
ソングリーダー	園田会員

卓話  
「民間企業との共創を通じた、  
新興国・途上国における社会課題  
解決への取り組み」  
グローバル補助金奨学生 滝尾 佳菜さん  
紹介者 若林会員



## 漆～伝統継承の取り組み

目白漆芸文化財研究所代表取締役 室瀬 智弥氏(5/12 卓話 若林会員紹介)



私の家は祖父の代から漆の仕事をしており、現在は目白に工房を構えています。私自身、元々自ら手を動かして仕事をするつもりはなかったのですが、この世界に正面から入っていく気持ちになっ

たのは、交換留学で海外経験を積んだことも影響していると思っています。

漆は、ウルシノキという木の樹液です。樹皮に傷を付けて垂れてくる樹液を集め、精製して使用しています。漆を採る作業



には専門の職人がいて、われわれでは賄えない非常に重要な仕事となっています。漆を使ったものづくりは、素材を用意する方々、道具を作る方々のとても大きなネットワークに支えられていますが、近年は漆に関する仕事が続けづらい状況となっています。非常に尊い仕事ですので、どうすれば支えていけるのか日々考えながら仕事をしています。

漆は、固まるために湿度を必要とし、湿度と反応しておのずと化学反応で固まる性質があります。ですので、一度硬化すると非常に強靱な塗膜を形成します。材料としては高価ですが、上手に使えば非常に丈夫なものができます。

わが国では、漆は古くは縄文時代から使われていました。今から約 7000 年前の地層から出土した祭祀用の櫛(くし)に現在と同じ手法で漆が塗られており、日本人がどれだけ長く漆と付き合いってきたかが分かります。

漆の活用は幅広く、唐招提寺鑑真和上像や興福寺阿修羅像も漆で作られています。仏像の表面に漆が塗られていることは結構ありますが、この二つはほぼ漆と布でできていて、粘土でボディを形成し、その上に漆と麻布を張り重ねて、中の粘土を取る形で作られています。甲冑の類も、革と鉄でできているのですが、その表面に漆を塗ることで強度を高め、防水や錆止めの効果もあります。

われわれは、蒔絵という装飾技法を主に使っています。漆で絵を描き、その上に金粉や銀粉をまいて定着させ、繊細なグラデーションなどを生み出す手法です。金属の粉にはいろいろな大きさや形があり、それらを組み合わせるので、同じ金の装飾でもその中に表情を持たせることができるのが特徴です。恐らく金が豊富に採れた日本だからこそ発達した装飾技法だと思います。

文化財はどうしても劣化するので、劣化が加速しないように処置・保管することも大事な仕事です。なるべく表情を変えずに壊れないようにすることが修理なので、綺麗にすることとは少し異なり、ちょっと特殊な仕事になります。

近年は自然災害も増え、次世代への継承が難しくなりつつあります。伝統工芸の従事者も 30 年前の 3 分の 1 以下に縮小しています。

伝統工芸を守るためには需要喚起も必要ですが、多くの方に興味を持っていただくことがまずは大切だと考えています。

一つは、教育に関わる部分がとても重要です。われわれは子ども対象のワークショップを開催しており、自分たちのアイデンティティである文化を生かさないと伝えていこうと伝えています。教育に携わっている方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけいただき、普及活動にお力添えを頂ければと思います。



加えて、世界の人たちにもこのユニークな文化を知ってもらいたいと考えています。3 月にはロサンゼルスで世界の文化財修復に携わっている人たちが意見交換する場に参加しました。来月はメトロポリタン美術館などを訪れ、技術的な意見交換をする予定です。漆は英語で japan といわれるように、日本を代表する工芸といっ

ていいでしょうし、われわれは改めてその技術を伝え直していかなければならないと思っています。

われわれは伊勢神宮で行われる式年遷宮の仕事にも一部参加させていただいています。式年遷宮は 20 年に 1 度という、技術を伝える上で非常によくできたシステムだと思うのですが、20 年後も同じ体制でできるのだろうかという不安も正直あります。

今後はわが国の財産としての文化を継承し、盛り上げていくために多くの方のご理解とご協力が必要だと思っており、今日の話きっかけに何かご一緒できることがあればぜひお声がけいただきたいと思っています。



### 東京麹町ロータリークラブ

設立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	荒川 和幸	FAX:03-3263-9122
幹事	守屋 幸作	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	URL: www.koujimachi-rc.jp